

日米首脳会談（戦争会談）粉砕!!

安倍訪米を阻止しよう

全国反戦青年委員会

全日本学生自治会総連合(五代委員長)

東京都杉並区下高井戸1-34-9 03-3329-0165/0168

<http://zengakuren.info/>

日米ガイドライン（防衛協力のための指針）粉砕!

「集団的自衛権」行使粉砕! 改憲阻止!

辺野古新基地建設を阻止しよう!

TPP（環太平洋経済連携協定）締結粉砕!

本日、首相・安倍がアメリカに向けて出発しようとしている。28日にはオバマとの日米首脳会談、29日には米議会上下院での演説が予定されている。恐慌がいぜん激化・拡大しており、日米帝は危機の突破をかけて戦争に突撃している。この過程自体が日米帝の共同した戦争遂行態勢の形成に他ならない。これを粉砕し、安倍政府打倒を闘おう。朝鮮反革命戦争粉砕—革命的反戦闘争を闘おう。

●日米首脳会談（戦争会談）を粉砕しよう

28日に日米首脳会談が開催されようとしている。この会談において安倍は、安保関連法案の制定、「集団的自衛権」の行使、辺野古新基地建設の強行、TPPの締結について確約しようとしている。この会談をもテコに、日米同盟の強化、米帝との約束をかかげて、一挙に戦争体制（安保関連法制定）を作ろうというのだ。

安倍政府は、昨年7月1日、「集団的自衛権」行使に向けた解釈改憲の閣議決定を強行した。戦争突撃への大きな転換点である。

安保関連法制について、自公連合政府は5月中旬にも閣議決定をおこない、今国会中での一括制定を狙っている。

主なものは以下のものとなる。①「集団的自衛権」行使にむけた、「武力攻撃事態法」改悪。手前勝手に時の政府が規定できる「存立危機事態」という概念をつくって、他国軍と共同で戦闘行動をおこなおうというもの。②「周辺事態法」を「重要影響事態法」に変える。「周辺」という地理的概念を取っ払って、世界の軍隊として自衛隊を再編するもの。「後方支援」という制約もなくして米軍以外との共同作戦も想定する。③「出兵恒久法」の新設。「国際平和支援法」と称して、いつでも自衛隊を戦地に出兵させようというのだ。これまで特措法を制定してきたことから大きな踏み込みである。

これらとともに、自衛隊の武器使用基準の緩和や「駆けつけ警護」などに関して、PKO法の改悪や自衛隊法の改悪など「有事法」の一括改定をしようとしている。

また、来年参院選後には改憲をねらっており、衆院の憲法調査会は動き出している。「積極的平和主義」を憲法に入れようという構想が自民党からあがっている。これこそ、積極的戦争主義だ。

自衛隊の海外出兵を粉砕し、基地・演習の強化を粉砕しよう。帝国主義軍隊を解体しよう。実力闘争・武装闘争で闘い、革命的反戦闘争の爆発をかちとれ。戦争司令部である「国家安全保障会議(NSC)」を解体しよう。戦争と一体の「秘密保護法」を粉砕しよう。日米安保を粉砕しよう。

●安倍演説、アジア侵略と植民地支配の居直りをゆるさない

29日には米議会上下院での演説が予定されている。ここで安倍は、首脳会談と同様に日米同盟強化、「集団的自衛権」行使、辺野古新基地建設を確約しようとしている。さらには、「未来志向」や「積極的平和主義」といいながら、アジア侵略と植民地支配、日本軍「慰安婦」の強制について居直りの演説をしようとしている。断じて許してはならない。

4月下旬にジャカルタでおこなわれたアジアアフリカ会議での演説では、植民地支配をしてきた国々の前でも、侵略への謝罪もなく、むしろ「反テロ」を強調したものとなっている。

8月には「戦後70年」の「安倍談話」を出そうとしている。安倍は、これらの演説・談話をくり返すことで、日本軍・侵略・植民地支配を賛美しようというのだ。これは、現下の戦争突撃と一体だ。断固として粉砕しよう。

●新「ガイドライン」(=日米戦争協定) 改訂を阻止しよう

4月8日、日米防衛相会談がおこなわれた。ここで、「ガイドライン」の改訂について「切れ目のない日米協力」と日米同盟の「グローバルな性質」を盛り込むことを確認した。さらに、27日のワシントンでの2プラス2(外務・防衛担当閣僚級会議)で最終合意をしようとしている。

これまでの朝鮮半島有事を想定したものから、さらに地理的概念を取っ払い、世界中で「反テロ」をかかげた戦争を日米共同でおこなおうというものだ。「集団的自衛権」の行使も想定されている。これは、上記安保法制の制定と一体のものとなる。

日米防衛協力のための指針(ガイドライン)改訂=双務的戦争協定を粉砕しよう。

●辺野古新基地建設を粉砕しよう

沖縄・辺野古で新基地建設(ボーリング調査)が強行されている。戦争のための基地建設だ。首相・安倍は、カーター米国防長官との会談で「今後とも確固たる決意の下で進めていく」と表明している。

沖縄労働者人民は、体を張って実力阻止し闘いぬいている。これに対して、警察や防衛局、海上保安庁は国家暴力を発動している。海上で羽交い締めにして捻挫させる、何度も水中に顔を沈めて窒息させる、殴る、蹴るなどの殺人的暴力だ。ゲート前の公妨では、不当逮捕もされている。徹底して弾劾する。暴行の下手人に報復しよう。

東村・高江ヘリパッド、浦添新基地建設を阻止しよう。新たな同化・皇民化攻撃、沖縄統合支配、「集団自決」賛美=「沖縄戦」強制をゆるすな。米兵の性暴力の続発を徹底弾劾し、反撃・報復の闘いを叩きつけよう。与那国への自衛隊配備を粉砕しよう。4.28—5.15沖縄人民解放闘争を闘おう。